

科目名				授業の種類	授業担当者
子ども家庭支援の心理学				講義	杉村 僚子
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修
1	2	30	15	前期	幼免：必修 保育士：必修
[授業の目的・ねらい]					
<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得する。</li> <li>家族・家庭の意義や機能を理解した上で、親子関係や家族関係等について発達の観点から捉える。</li> <li>子育て家庭をめぐる現代的課題について理解する。</li> <li>子どもの精神保健とその課題について理解する。</li> </ul>					
[授業全体の内容と概要]					
乳幼児期、児童期、青年期、成人期、老年期と生涯に渡る発達について理解した上で、各時期の発達課題や初期経験の重要性について学ぶ。また、家族・家庭の意義や機能を理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。さらに、子育て家庭に関する現状と課題、子どもの精神保健とその課題について学ぶ。					
[受講上の注意事項]					
授業時に配布した資料を適切に管理し、毎回持参していつでも参照できるようにすること。					
[使用テキスト]			[評価基準]		
新・基本保育シリーズ⑨ 子ども家庭支援の心理学 (白川佳子・福丸由佳編集 中央法規)			期末試験(70%)と授業内の課題(30%)で評価する。		
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]					
回	項目		授業内容		
1	生涯発達とは		従来の発達観から、生涯発達心理学という新たな観点への変化について理解する。		
2	乳幼児期の発達①		乳児期、幼児期の発達の概要を理解する。		
3	乳幼児期の発達②		乳児期、幼児期の発達の概要を理解する		
4	児童期の発達		児童期の発達の概要を理解する。		
5	青年期の発達		青年期の発達の概要を理解する。		
6	成人期・老年期の発達		成人期・老年期の発達の概要を理解する。		
7	家族・家庭の意義と機能		家族・家庭の意義や機能について学ぶ。		
8	親子関係・家族関係の理解		親子関係・家族関係について発達の観点から理解する。		
9	子育ての経験と親としての育ち		親としての発達、家族発達について学ぶ。		
10	子育てを取り巻く現状と課題		子育てに関わる社会的状況の変化や現代的課題について学ぶ。		
11	ライフコースと仕事・子育て		ライフコースの多様化やライフ・ワークバランスについて理解する。		
12	多様な家庭とその理解		現代家庭の多様さ、特別な配慮を必要とする家庭について理解する。		
13	子どもの生活・成育環境とその影響		発達初期の経験の重要性について学ぶ。		
14	子どもの心の健康に関わる問題		子どもの精神保健とその課題について理解する。		

15	まとめと試験	これまでの内容を総括し、試験を行う。
実務教員としての経歴		
実務経験と授業の関連		